

南山大学人類学研究所 公開講演会

公開講演会

回	年月日	講師	演題
1982年度			
1	昭和57年5月22日(土)	中沢新一	シャーマニズムと仏教
2	昭和57年6月26日(土)	片山一良	スリランカの仏教儀礼
3	昭和57年9月25日(土)	白鳥芳郎	華南文化史からみた少数民族社会
4	昭和57年11月13日(土)	大林太良	葬制の諸問題
5	昭和57年12月18日(土)	吉田禎吾	儀礼とコスモロジー
6	昭和58年2月5日(土)	石井真夫	南部ペンデコストの伝統的社会組織
1983年度			
1	昭和58年6月4日(土)	渡邊欣雄	玉皇上帝の誕生祭をめぐって
2	昭和58年10月22日(土)	スチュアート・ヘンリ	伝統エスキモーの宗教
3	昭和59年1月21日(土)	石井米雄	上座部仏教の最近の研究動向について
1984年度			
1	昭和59年6月2日(土)	吉岡政範	南太平洋におけるキリスト教と文化変化
2	昭和59年6月30日(土)	小馬 徹	東アフリカ・キブシギスの人々の牛をめぐる文化とセンチメント
3	昭和59年10月13日(土)	関 一敏	洞窟に現れた聖母の話——初期のルルドをめぐって
4	昭和59年12月8日(土)	佐野賢治	ラマ教と民族——ブータンからモンゴルへ
5	昭和60年1月19日(土)	竹村卓二	客民の世界——華南・東南アジア産地民族の社会構造
1985年度			
1	昭和60年5月25日(土)	山折哲雄	翁の誕生
2	昭和60年6月15日(土)	山本真鳥	〈災難〉と呼ばれる贈与——サモア社会の交換システム
3	昭和60年10月26日(土)	小川 了	フルベ族の結婚式
4	昭和61年1月18日(土)	斎藤尚文	太平洋戦争の人類学
1986年度			
1	昭和61年5月17日(土)	青柳真智子	モデクゲイ——マイクロネシア・ペラウの新宗教
2	昭和61年6月7日(土)	小野澤正喜	タイ仏教における二重構造について
3	昭和61年10月18日(土)	渡部重行	西アフリカのヨルバ族における女性の位置
4	昭和61年12月6日(土)	渋谷利雄	スリランカの儀礼劇ソカリと民族暴動
5	昭和62年1月31日(土)	須藤健一	マイクロネシアの母系制社会の構造について
1987年度			
1	昭和62年5月30日(土)	落合一泰	祝祭の文法
2	昭和62年6月27日(土)	竹沢尚一郎	水の主とイスラーム——ニジュール川の漁獵民ボゾ族における社会的変化
3	昭和62年11月14日(土)	吉本 忍	ヒンドゥー・バリ教の供物——その象徴的世界
4	昭和62年12月5日(土)	高桑史子	スリランカのシンハラ漁民——その商人的性格
5	昭和63年1月31日(日)	関根康正	タミル民家に見るイデオロギー——ハリジャンの意識構造解明のための一作業
1988年度			
1	昭和63年5月28日(土)	杉島敬志	東インドネシア・フローレスにおける呪術的・宗教的土地所有権
2	昭和63年6月25日(土)	小谷凱宣	アラスカ先史学研究の諸問題——アラスカの調査から
3	平成元年3月4日(土)	清水昭俊	家族と自然
		討論	清水家族理論をめぐって: 吉岡政徳・斎藤尚文・小田亮・坂井信三
1989年度			
1	平成元年5月10日(水)	Roosens, Eugene	統一ヨーロッパにおける少数民族——移民労働者の問題について [南山宗教文化研究所共催]
2	平成元年5月13日(土)	大塚和夫	Islam, islam, ムスリム
3	平成元年7月1日(土)	合田 濤	「病」の文化
4	平成元年10月28日(土)	植野弘子	台湾漢人社会における「鬼」の意味——冥界・地界・人間の媒介者
5	平成2年1月20日(土)	Reichel Dormatoff	コロンビア・インディオの神話的世界 * ラテンアメリカ研究センターとの共催
1990年度			
1	平成2年6月23日(土)	宮崎恒二	ジャワの王権と社会
2	平成2年9月22日(土)	常見純一	天人女房譚の背景
3	平成3年1月12日(土)	比嘉政夫	祖先崇拜と門中女性司祭——沖縄の宗教的世界
1991年			
1	平成3年11月9日(土)	出口 顕	構造分析再考——牽牛織女説話を手がかりに
1992年度			
1	平成4年6月13日(土)	林 行夫(国立民族学博物館)	すれちがう視線のなかで——ラオ人社会とその周辺
2	平成4年12月5日(土)	柄木田康之氏(鹿児島大学)	マイクロネシアの性差と社会——オレアイ環礁の事例から
1993年度			
1	平成5年6月5日(土)	小田 亮	翻訳としての構造
1997年度			
シリーズ「ジェンダーについて」			
1	平成9年5月10日(土)	宇田川妙子(中部大学)	イタリア女性の強さはどこから来るのか
2	平成9年6月14日(土)	瀬地山角(東京大学)	東アジアの家父長制
3	平成9年11月8日(土)	速水洋子(京都大学)	変わりゆく周縁少数民族におけるジェンダーの民族誌
4	平成9年12月13日(土)	成田弘成(豊田短期大学)	南太平洋のトランス・ジェンダー
1998年度			
シリーズ「開発と原住民文化」			
1	平成10年5月9日(土)	川田順造(広島市立大学)	開発における特殊と普遍——「技術文化」の類型化の試み
2	平成10年6月13日(土)	津田命子(北海道立ウタリ総合センタ)	祖父母の時代と私の経験
3	平成10年11月8日(日)	菊池靖(早稲田大学)	開発と文化——21世紀への課題と展望
4	平成10年12月5日(土)	杉藤重信(椋山学園大学)	アボリジニーらしさと開発——オーストラリア・アーネムランドの現在
1999年度			
1	平成11年6月7日(月)	Christian Grant(Director, Indigeneous Heritage Section, Australian Heritage Comission) 杉藤重信(椋山学園大学)	Who is managin and protecting Australia's Indigenous Heritage? 司会 (南山大学オーストラリア研究センター共同企画)
2	平成11年10月18日(月)	ベナンシオ・シンキ(画家) カルロス・ルンシェ・タナカ(彫刻家) エドワルド・タケン・ナミザト(画家) 遅野井茂雄	日系人芸術家によるペルー現代美術 司会 (南山大学ラテン・アメリカ研究センターとの共同企画)

	1999年度		
1	平成11年10月7日(木)	姜 仁求(韓国精神文化研究院・韓国学大学院教授、南山大学人類学研究所客員研究員)	韓国の古墳について
	2000年度		シリーズ「日本のもう一つの顔—知られざる神秘」
1	平成12年6月10日(土)	小松和彦(国際日本文化研究センター)	「いざなぎ流」とはなにか
2	平成12年7月8日(土)	門屋光昭(盛岡大学、「鬼の館」館長)	東北の隠し念仏
3	平成12年10月21日(土)	鈴木正崇(慶應義塾大学)	神楽の諸相
4	平成12年11月11日(土)	池上良正(駒澤大学)	近代日本の初期キリスト教「聖霊派」について—いやし・霊体験・電信員伝道
	2001年度		シリーズ「イスラームの世界を知りたい」
1	平成13年5月26日(土)	大塚和夫(東京都立大学)	現代イスラームの諸問題とその歴史的背景
2	平成13年6月16日(土)	中村光男(千葉大学名誉教授)	現代インドネシアのイスラームと国家—「グス・トゥル」大統領の思想と行動を中心に
3	平成13年11月10日(土)	大塚久恵(城西国際大学)	アメリカにおけるムスリム市民とアメリカ人のイスラーム観
4	平成13年12月15日(土)	片倉もとこ(中央大学)	イスラーム社会における人間観
	2002年度		シリーズ「テロや紛争などの暴力行為はなぜおこるか」
1	平成14年6月7日(金)	片田珠美(人間環境大学)	暴力の起源について—攻撃性の精神分析
2	平成14年7月5日(金)	峯 陽一(中部大学)	憎悪から和解へ—南アフリカの経験
3	平成14年11月15日(金)	栗本英世(大阪大学)	内戦の人類学的研究—その可能性を探る
4	平成14年12月6日(金)	近藤光博(日本学術振興会特別研究員)	ヒンドゥー・ナショナリズムの諸問題とガンディー思想の可能性
	2003年度		
1	平成15年11月17日(月)	許 宏(Xu Hong) 中国社会科学院考古研究所副研究員、中国社会科学院助教	考古学からみた中国礼制の起源
2	平成15年12月5日(金)	泉水英計(鈴鹿国際大学短期大学部助教授)	再考・シャーマンと精神病理学—沖縄・宮古島の事例から
	2004年度		シリーズ「イスラームの世界を知りたい」
1	平成16年11月5日(金)	Wilton S. Dillon (Senior Scholar Emeritus, Smithsonian Institution, National Museum of Natural History)	Margaret Mead's Uses of Imagery
2	平成16年11月26日(金)	色 音(中国社会科学院民族研究所研究員、教授)	中国におけるシャーマニズム研究の歴史と現在
	2005年度		
1	平成17年6月3日(金)	遠藤 央(京都文教大学教授)	ミクロネシア・植民地主義・中島教—パラオの人びとと日本の関係
2	平成17年6月24日(金)	岡田浩樹(神戸大学助教授)	植民地の記憶とねじれた「近代化」—日本と韓国のポストコロニアル状況についての人類学的試論
3	平成17年11月25日(金)	上水流久彦(県立広島大学地域連携センター助手)	台湾社会にみる(日本)像
4	平成17年11月25日(金)	轟 莉莉(東京女子大学教授)	中国民衆の戦争記憶—旧日本軍による細菌戦をめぐる
	2006年度		シリーズ「障害と障害者の文化人類学」
1	平成18年7月7日(金)	市田泰弘(国立身体障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官)	言語としての手話、文化としてのろう
2	平成18年7月14日(金)	亀井信孝(関西学院大学社会学研究科COE特任助教授)	アフリカろう者のフィールドワーク—手話を通して見えてきたもうひとつの歴史
3	平成18年10月13日(金)	広瀬浩二郎(国立民族博物館民族文化研究部助手)	ひらけ豊かな触生活! —博物館から始まるフリーバリア社会
4	平成18年11月10日(金)	杉野昭博(関西大学社会学部教授)	障害者と文化的障壁—文化人類学の接点をさぐる
	2007年度		シリーズ「紛争と災害の文化人類学」
1	平成19年7月13日(金)	中原聖乃(中京大学非常勤講師)	マーシャル諸島における核実験と人びとの戦略
2	平成19年7月27日(金)	福武慎太郎氏(名古屋市立大学人文社会学部講師)	紛争と和解の人類学—東ティモールを事例に
3	平成19年10月26日(金)	杉本良男氏(国立民族学博物館民族社会研究部教授)	奇蹟とナショナリズム—南インドにおける津波災害と人類学
4	平成19年12月7日(金)	岸上伸啓氏(国立民族学博物館先端人類学研究部教授)	極北のイヌイト社会と地球の温暖化
			地域研究センター共同研究・人類学研究所共催
5	平成20年2月26日(火)	エマニュエル・テレ(Emmanuel Terray) (フランス国立社会科学高等研究員・アフリカ研究センター教授)	L'Etat-Nation vu par les sans-papiers(サン＝パピエから見た国民国家—非正規滞在者がフランス社会に提起する問い)
	2009年度		人類学研究所60周年記念シンポジウム・第1回「21世紀アジア社会の人類学:回顧と展望」
1	平成21年12月19日	渡邊学	開会挨拶
		サガヤラージ・A	趣旨説明
		杉本星子	総論
		高桑史子	南アジア・スリランカ
		三尾裕子	東アジア・台湾
		速水洋子	東南アジア・タイ
		田中雅一	コメント
		吉田竹也	コメント
		司会 坂井信三	総合討論
2	平成22年1月23日	渡邊学	開会挨拶
		後藤 明	趣旨説明
		早川正一	講演1「人類学研究所の設立と初期の展開について」
		大塚達朗	コメント
		杉本良男	講演2「人類学研究所における共同研究と公開講演」
		加藤隆浩	コメント
		司会 後藤 明	総合討論